

## 第14回 エックス線被ばく事故検討WG 議事概要

1. 開催日時：2022年2月2日（水）午前9時00分～10時00分
2. 開催場所：Zoomを用いたオンライン開催
3. 出席者：（順不同、敬称略）  
飯本武志、古渡意彦、山口一郎、榎本 敦、中村美和、浜田信行、橋本 周、秋吉優史、阪間 稔、笠井 篤、小田啓二、小嶋光明、五十嵐 悠
4. 紹介資料  
資料1 WG活動経過報告書の構成案2  
資料2 エックス線被ばく線量分布の理解を支援するための放射線3次元可視化  
資料3 放射線影響の観点からの課題
5. 議事
  - (1) WG活動経過報告書の構成案の改訂について
    - 資料1に基づき、古渡副委員長より経過報告書構成案の改訂について説明があり、事務局が提案する経過報告書の構成案について了承された。
    - 委員から以下の意見、コメントがあった。
      - ✓ 今後の検討課題について、エックス線被ばくに特化せずに、広く放射線事故全体を扱うことを明示すべきとの提案があった。飯本委員長より、経過報告書の段階では、まとめのなかでその内容に言及することを検討したいとの回答があった。
      - ✓ 「エックス線」と特出ししている点について、特徴的である「低エネルギー」というキーワードを追記するかどうか考慮すべきであるとの指摘があった。飯本委員長より、「低エネルギー」というワードの追記も含め検討し、エネルギーが低いために生じる被ばくの特徴および課題に着目した記載とするとの回答があった。
  - (2) 意見発表  
資料2に基づき、阪間委員より経過報告書項目案について説明がなされた。
    - 放射線輸送シミュレーションコードを効果的に用いることで、被ばく状況・線量を視覚化することができ、放射線防護の専門家ではない放射線・エックス線装置のユーザーの理解を支援することができ、また放射線安全文化の醸成へも寄与する。
    - 委員から以下の意見、コメントがあった。
      - ✓ シミュレーションについて、エックス線装置の構造や作業者の姿勢等の情報を詳細に入力することで、より現実に近い被ばくの分布と線量の評価が可能になることが確認された。
      - ✓ シミュレーション結果を動画でも提供するアイデアに関し、放射線のばく露状況について、例えば医療被ばくの対象となる患者に対して視覚化により心理的な負担を与えかねないとの懸念が示された。公開する場合には、その閲覧に対して注意を促すとともに、医療での放射線利用に関して説明を詳細に記載する、配色を考慮する等、配慮が十分になされるべきであるとの提案が

あった。

資料3に基づき、浜田委員より経過報告書項目案について説明がなされた。

- 経過報告書の執筆段階では昨年のエックス線被ばく事故の公開情報がほとんどないことを考慮し、放射線影響に関する一般的課題を整理する。
- 委員から以下の意見、コメントがあった。
  - ✓ 低エネルギーエックス線に対する放射線影響に関し、生物学的効果比(RBE)について詳細な記載があるほうが望ましい。

(3) その他

- WGメンバーに配布していた第13回WGの議事要旨を確認し、承認を得た。
- 第15回は2022年2月16日(水)午前9時00分～10時00分の開催を予定している。

以上